

ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>

C O N T E N T S

ページ 項目

報告 <<Report>>

- 2 若手技師国際化フォーラム報告

案内 <<Information>>

- 3 広臨技事務局より重要なお知らせ
4 輸血検査 実技研修のご案内
5 第21回 東部地区学会(ご案内)～第1報～
7 全国「検査と健康展」ボランティア募集
8 第37回 広島県医学検査学会 ～第3報～

広島県医学検査学会
演題募集を延長しました。
令和元年10月18日(金)
まで



検体採取等に関する厚生労働省指定講習会

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律(平成26年法律第83号)により、臨床検査技師等に関する法律(昭和33年法律第76号)の一部が改正され、平成27年4月1日から、臨床検査技師の業務範囲に一定の検体採取が追加されることとなります。本講習会は臨床検査技師の国家資格の一部追加で、全員の参加が求められています。尚、広島県での受講は、令和元年12月7、8日開催をもって終了となりますので、未受講の会員の方は受講をお願い致します。受講希望者は、日臨技ホームページからお申込みをお願いします。

<<https://jamtjamtis.jamt.or.jp/Jamtis/WorkshopPublic/Home.aspx>>

**広島県での受講は、Web 残り 87(9/30 現在)
令和元年12月7、8日がラスト!!**

広報部連絡・専用E-Mail<koho@hiroringi.or.jp>速報原稿の送付、広報部へのご意見等
をお願いします。モバイル端末からのメール送信も可能です。

(次号速報の原稿〆切りは10月15日です)



若手技師国際化フォーラムを終えて

5月に下関で開催された第68回日本医学検査学会で、「第1回 The International Young BLS Forum」という国際化フォーラムが開催されました。本フォーラムは2018年に発足された若手技師国際化向上Working Group (WG)の最初の企画であり、私はそのWG委員の一員として、本フォーラムに参加させていただきました。本フォーラムは「人工知能の活用」というテーマのもと、精度管理チーム、ゲノム医療チームおよび遠隔医療チームの3つにグループに分け、それぞれのチームで事前に作成した資料を元にディスカッションを行い、最終的にまとまった話を参加者および一般傍聴者の前で発表する形式で行いました。1グループにつき日本、韓国および台湾からの参加者計10名で構成され、国内外の若手検査技師が主体となり、臨床検査の未来像について、国境を越えた論議が行われました。

私は病理細胞診領域を専門としているので、ゲノム医療チームのメンバーとしてディスカッションに参加しました。最初にフォーラム当日までにディスカッションをするための事前準備をしないとイケなかったもので、ゲノム医療において重要とされる組織の固定方法やAIの活用に関する質問を5項目リストアップし、各国がそれに回答する形で事前準備を進めました。

フォーラム当日はAIの有用性に関して重点的にディスカッションを行いましたが、なんとかそれなりに話はまとまり、最終発表に関してもカープの中崎劇場ばりのハラハラする展開がありながらも、最終的にはうまくまとまった発表ができたと思います（ディスカッションの詳細については医学検査雑誌に投稿予定ですので、乞うご期待ください）。もちろんすべて英語でやらないとイケないため、訳のわからない状況が多少なりともありましたが、皆でフォローし合うことによって、コミュニケーションがしっかりとれたと思います。フォーラム終了後は韓国、台湾の方々とさらに距離が縮まり、気が付いたら好きな異性のタイプの話まで発展していました。恋バナというのはワールドワイドに盛り上がるものだなと実感しました。僕自身これまでに様々な学会で発表をさせていただく機会がありましたが、今回のフォーラムほどの感動はいままでありませんでした。2016年にカープが25年ぶりに優勝を決め、黒田と新井が泣きながら抱擁するシーンなみの感動でした。



写真左が、小林剛氏

しかしながら、感動すると同時に僕自身の英語力の乏しさにも、苛立ちを感じました。今シーズンの緒方監督の采配に対する苛立ちほどではありませんが、あらためて英語表現の難しさを痛感させられました。普段の日常生活において、英語を使う機会はほとんどないため、なかなか実践的な英語力をimproveしていくのは難しいところではありますが、それはただの言い訳に過ぎません。今回の貴重な経験を生かし、国際化WG委員の名に恥じぬようこれからも英語力の向上に努め、初心を忘れずアグレッシブにチャレンジをし続け、将来的にはルー大柴のようなインターナショナルな男になりたいと思います。

(呉共済病院 病理診断科 小林 剛)

広臨技会員の皆様へ 広臨技事務局より重要なお知らせ

令和元年 10 月 27 日
広臨技 事務局

広臨技会員、賛助会員の皆さまには平素より、会の運営にご理解とご支援を賜り有り難うございます。この度、広臨技は会員のための情報伝達ツール「広臨技 ML コミュ」として利用してまいりましたメーリングリスト事業を終了するとの通知を GMO 事務局より受けております。そこで、本会は新たな情報伝達ツールとして「広臨技メールマガジン」を構築致しましたのでお知らせします。本メールマガジンは広臨技ウェブサイト（広臨技が運営する公式サイト）の機能を利用するため、1) 広臨技ウェブサイトに会員登録。次いで 2) 広臨技メールマガジンの購読登録が必要となります。会員の皆様の購読が進まなければ有効な情報伝達の機能を発揮することができません。ご多忙とは存じますが、早急な登録をお願い致します。また、『広臨技 ML コミュ』ご利用ではない会員の皆様にもお声かけいたします。

1) 【広臨技ウェブサイト】会員登録手順

広臨技会員限定の登録です。今後、会員専用の企画に必要となります。

PC もしくはスマートデバイスにて『広臨技』で検索し広臨技ウェブサイトを表示します。

[会員メニュー](#) [会員登録フォーム](#) <https://www.hiroringi.or.jp/mem-reg/>

必要な情報を入力 [登録](#)

2 日以内（土日祝日除く）に承認通知が登録アドレスにメールで送られてきます。

引き続き [メールマガジン登録ページ](#)へ進みます。

2) 【広臨技メールマガジン】登録手順

『広臨技 ML コミュ』から『広臨技メルマガ』へ代わります。

まず、広臨技ウェブサイトにログイン <https://www.hiroringi.or.jp> します。

[会員メニュー](#)

[メールマガジン登録ページ](#) <https://www.hiroringi.or.jp/メールマガジン登録ページ/> へ

登録するマガジン 1, 広臨技メールマガジン 2, 地区メールマガジン(呉地区または東部地区の会員のみ)

[購読!](#) を押すと、ロボットではないことを確認してください。と表示されますので

キーを入力して再度 [購読!](#)

受信ボックス又は迷惑メールフォルダを確認して購読手続きを完了してください。

しばらくして広島県臨床検査技師会より承認メールが届きます。

件名：広臨技 WEB メールマガジンの購読を承認する

送信元：広臨技 WEB <E-ZINE@HIRORINGI. OR. JP>

本文

こんにちは

広島県臨床検査技師会メールマガジンを購読しました。

以下のリンクをクリックして、1. 広臨技メールマガジン、に登録を確認してください：

購読手続きを確認するには、ここをクリックしてください

ありがとうございました。

以上本文中の[ここをクリック](#) ←をクリックするとサイトの完了ページが表示されますと登録完了になります。ここまでしないと完了致しません！

3) 【留意点】

- ①広臨技ウェブサイト会員登録は、今後の広臨技行事の申し込みなどに必要となります。
- ②地区メールマガジンは呉地区と東部地区があり地区メーリングリストの後継となります。
- ③広臨技メールマガジンの登録がなければ地区メールマガジンの登録はできません。

- ④メールマガジンの登録アドレスは、広臨技ウェブサイトの会員登録アドレスとは異なっていてもかまいません。施設アドレスでもよいですが、メールの宛名は登録会員様となります。
- ⑤広臨技メールマガジンは 24 時間以内に自動分配して配信しています。必ずしも送信ボタンを押すと即時に配信するものではございませんのでご了承下さい。
- ⑥メールが来ないと気付いたら、迷惑フォルダーを確認してください。その後 1 日経っても無ければ下記へ問い合わせ下さい。

広臨技情報システム、ウェブサイト関連問い合わせ先：webmaster@hiroringi.or.jp

4) 【広臨技 ML コミュの終了について】

決まり次第に広臨技ウェブサイト、広臨技メルマガにてお知らせ致します。

広臨技 ML コミュに関する問い合わせ先：webmaster@hiroringi.or.jp

輸血検査 実技研修会のご案内

拝啓

皆様方にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は、広島県臨床検査技師会学術活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、以下の要領で輸血検査実技研修会を開催致します。

日本輸血・細胞治療学会から出された「実技テキスト」に基づいた内容で、初級者および小規模施設の方々が対象となります。また、募集人数は 16 名のため、定員を超える場合は、施設からの参加者は 1 名とさせていただきます。

以上のことをご理解いただき、多くの施設の方々にお申し込みいただきますようお願い申し上げます。

敬具

日 時：2019 年 12 月 15 日（日） 12:00～17:30（予定）
場 所：広島大学 保健学科研究棟
募集人数：16 名
参加費：5,000 円（参加費納入方法は別途ご連絡いたします）
主な内容：凝集判定の目合わせ
ABO・RhD 血液型検査
交差適合試験
不規則抗体検査

【申し込み方法】

E-mail または FAX にて、申し込み用紙の必要事項を記載の上、申し込みをお願いします。

・E-mail：centrinolavie122@yahoo.co.jp

・FAX：082-223-7838（広島市民病院）

申し込み期限は 11 月 7 日（木）までとします。（先着順ではありません。定員を超える場合はお断りすることがあります）なお、申し込みをいただいた方には追って 11 月 15 日（金）までに e-mail でご連絡いたします。

また準備の都合上、受講決定後のキャンセルはご遠慮ください。

~~~~~輸血検査実技研修会申し込み用紙~~~~~

送信先：082-223-7838

\* (氏名) \_\_\_\_\_

\* (会員番号) \_\_\_\_\_

\* (施設名) \_\_\_\_\_

\* (電話番号) \_\_\_\_\_

(FAX 番号) \_\_\_\_\_

\* (e-mail) \_\_\_\_\_

e-mail は携帯以外でお願い致します。

(輸血検査の経験年数) \_\_\_\_\_ 年 兼任 専任

\* 必須項目です。

問い合わせ先：広島市立広島市民病院 臨床検査部 白井琢也 TEL・FAX082-223-7838

## 第 21 回 東部地区学会（ご案内）～第 1 報～

啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、第 21 回東部地区学会を下記の日程にて開催致します。

今回の東部地区学会は、一般演題 6 題と教育講演「地域に飛び出した臨床検査技師の取り組み」そして、特別講演「高齢者の生き方に医療者はどう答えるべきか」の構成で、懇親会を含め会員相互の親睦がはかれる一日となるよう企画しております。

日々ご多忙とは思いますが、皆様お誘い合わせの上、多数ご参加頂きますようご案内申し上げます。

敬具

記

開催日：2019 年 11 月 10 日（日）

受付 13：30～

学会 14：00～

会場：三原国際ホテル 6 階 「エターナリー」

三原市城町 1 丁目 2-1 TEL (0848) 63-2111

懇親会：三原国際ホテル 6 階 「アニバーサリー」 18：00～

懇親会参加費：会員 4,000 円（懇親会のみ参加：5,000 円）

一般演題 14：15 ～15：15

1. 『 当院の NST の現状 』

JA 尾道総合病院

中野 寛子 技師

2. 『 当院における睡眠時無呼吸症候群 簡易検査の現状 』

日本鋼管福山病院

志田原 成海 技師

3. 『 ABO 血液型検査の判定を保留し、O 型赤血球製剤を使用した 2 症例 』

公立学校共済組合 中国中央病院

伊藤 野利子 技師

4. 『 当院における *Helicobacter cinaedi* の検出事例 』

尾道市立市民病院

小林 さおり 技師

5. 『 当院気管支鏡における迅速細胞診 (ROSE) の試み 』

三原市医師会病院

森 智紀 技師

6. 『 特殊な形態を示した大腸がんの一例 』

三原赤十字病院

金光 寛樹 技師

特別講演 15：25 ～16：25

『 地域に飛び出した臨床検査技師の取り組み 』

講師：広島県廿日市地域支援員

黒木 真由 先生

教育講演 16：35 ～17：35

『 高齢者の生き方に医療者はどう答えるべきか 』

講師：三原赤十字病院 呼吸器内科

有田 健一 先生

広島原爆療養ホーム 舟入むつみ園

【学会会場】



※なるべく公共機関を利用してお越し下さい。

下記の参加申込み用紙に施設名、お名前と該当欄に○印をご記入のうえ各施設で取りまとめて申し込み下さいますよう宜しくお願い致します。

10月25日(金)までにFAXまたはE-mailにてお申し込み下さい。

※ 参加人数把握のため、事前申し込みにご協力下さい。

(懇親会参加希望の方は、必ず事前申し込みして下さい。)

申し込み先 : 三原赤十字病院 中宮 茂雄 宛

FAX : 0848-64-5880 E-mail : kensa@mihara.jrc.or.jp

第21回 東部地区学会参加申し込み用紙

施設名 : \_\_\_\_\_

| お名前 | 学会参加 | 懇親会参加 |
|-----|------|-------|
|     |      |       |
|     |      |       |
|     |      |       |
|     |      |       |
|     |      |       |
|     |      |       |

※ 記入欄が足りない場合はコピーしてご使用下さい

## 全国「検査と健康展」ボランティア募集

この事業は、国民の健康づくり、生活習慣病の早期発見、定期的な健康診断の重要性や臨床検査の正しい知識と普及ならびに臨床検査技師を広く紹介することを目的に開催します。

そこで、ご協力を頂けるボランティアを募集いたします。

ご協力いただける方は、下記申込み書に必要事項をご記入の上、FAX で申し込みください。

日時：令和元年 11 月 9 日(土) 9:40 集合

場所：廿日市市民ホール（ゆめタウン廿日市店内）

〒738-0023 廿日市市下平良 2 丁目 2-1 TEL0829-32-7021

内容：「健康チェック」一般市民の臨床検査体験のための検査

1. CAVI 検査
2. 肺機能検査
3. 骨密度検査
4. 簡易血糖
5. 経皮的貧血検査
6. 物忘れ相談プログラム（認知症スクリーニング検査）
7. DVT 検査
8. 検査体験（キッズエコー、顕微鏡）
9. 検査相談会場案内
10. 検査相談
11. パンフレットの配布

募集人員：50 名

締め切り：10 月 18 日（金）まで

申し込み先：（一社）広島県臨床検査技師会事務所 FAX（082）502-6031

その他：協力謝礼金 3000 円 軽食支給

問い合わせ先：広島市立安佐市民病院 中島 静 Tel 082-815-5211（内線 3503）

---

### 全国「検査と健康展」ボランティア申し込み

施設名

TEL

| 会員番号 | 氏名 | メールアドレス | 希望内容（番号記入・複数可） |
|------|----|---------|----------------|
|      |    |         |                |
|      |    |         |                |
|      |    |         |                |
|      |    |         |                |
|      |    |         |                |
|      |    |         |                |
|      |    |         |                |

## 第 37 回 広島県医学検査学会 (第 3 報)

【開催日】 令和 2 年 2 月 15 日 (土) ~16 日 (日)  
【場 所】 広島 YMCA 国際文化センター  
〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀 7-11

### 一般演題の募集について

一般演題を募集します。

- 演題申し込み締め切り日 :  
令和元年 10 月 18 日 (金)
- 抄録原稿締め切り日 :  
令和元年 11 月 22 日 (金)

<申し込み先・原稿送付先・問い合わせ先>  
県学会事務局宛 (担当: 栗村)  
[hamtcongress@hiroringi.or.jp](mailto:hamtcongress@hiroringi.or.jp)

### 抄録原稿依頼のお願い

#### 1. 抄録作成内容

Microsoft Word 形式のファイルで作成してください。

- 紙サイズ A4 余白は上下 25mm 左右 20mm
- タイトルは MS 明朝 14 ポイント
- 施設、氏名、本文は MS 明朝 10.5 ポイント
- 1,800 字程度にまとめて下さい。

#### 2. 原稿の送付方法

\* ①②いずれかを選んで下さい。

- ① 抄録ファイルを電子メールで送付するとともに、印刷した抄録原稿を FAX する。

② 印刷した抄録原稿 1 枚と原稿を保存した CD-R を送付する。(CD-R には、施設名とタイトルを明記してください。)

#### 3. 抄録原稿送付先

県学会事務局宛

担当: 栗村尚史 県立広島病院

mail: [hamtcongress@hiroringi.or.jp](mailto:hamtcongress@hiroringi.or.jp)

FAX: 082-253-0659

〒734-8530

広島市南区宇品神田 1 丁目 5 番 5 4 号

県立広島病院 臨床研究検査科

栗村 尚史

|     |                        |
|-----|------------------------|
| 6 行 | タイトル<br>筆頭執筆者・連名執筆者・所属 |
|     | 2 段組                   |

2019 年 9 月 27 日

第 37 回広島県医学検査学会実行委員会